

パブリックコメント手続きの実施結果について

- ・ 案件名 伊東駅前広場整備計画（案）
- ・ 実施期間 令和6年1月4日（木）から令和6年2月2日（金）まで
- ・ 担当課 建設部 都市計画課
- ・ 意見提出数 23人・49件（重複12件）

「伊東駅前広場整備計画（案）」に対していただいたご意見と市の考え方

No.	頁	意見内容	市の考え方
1	1	<p>整備計画（案）のイメージ図だと湯の花通り側から改札に向かうとロータリー入口で横断歩道を渡ることになりますが、朝は急いでいる方が多いため、ロータリーをまわらず、横断歩道を利用する可能性があります。ロータリーに進入する自動車も同様です。バスと自家用車のトラブルを避けることができる構造だとは思いますが、歩行者と自動車のトラブルが起こりかねないと思います。</p> <p>ロータリーの湯の花通り側に階段等の通路を設置し、歩行者がロータリー入口を横断しなくてもいい構造にしてほしいと思います。</p>	<p>①商店街から駅への歩行者動線について、現在のイメージ図に記載している横断歩道の位置は決定されたものではありません。歩行者及び自動車等の安全対策につきましては、今後、静岡県公安委員会との協議により対応してまいります。</p> <p>②湯の花通り側への階段等の通路設置につきましては、一般車ロータリーの湯の花通り側に高さ5mから6mの擁壁を設ける予定であり、5m以上の段差を解消する階段を設置するスペースがないことから、困難であると考えます。</p>
2	2	<p>機能の不足が課題とあるが、不足している機能とはなにか。</p>	<p>主に、滞留スペースと一般車向けのロータリーが、不足している機能であると認識しております。</p> <p>①伊東駅は伊東市の交通の拠点であるものの、利用者が滞留できるスペースがほとんど確保されておりません。また、ベンチ</p>

			<p>等も数が限られております。</p> <p>②現在の駅前ロータリーは、バス・タクシー専用のロータリーであり、一般車の乗降場は確保されていない状況となっております。</p>
3	2	<p>誰もが快適かつ安全にとあるが、バリアフリーへの対応はどのように考えているのか。</p>	<p>バリアフリーへの対応につきましては、バリアフリー法に基づく道路移動等円滑化基準に基づき、バス、タクシー及び一般車の乗降場の段差、歩道等の勾配、視覚障がい者用誘導用ブロックの設置などを計画しております。</p> <p>また、今後、音声案内や点字表記等の導入を検討してまいります。</p>
4	3・9	<p>津波避難所および大型駐車場を兼ねた設備を建設できないかと考えます。場所は基本レイアウト案の駐車場・駐輪場でも良いですし、駅舎に商業施設を一部併設するかたちも良いかと思えます。</p>	<p>津波避難所の建設については、市担当部署へ伝えます。</p> <p>また、大型駐車場を兼ねた設備の建設については、駅前広場整備とは別に、伊東駅周辺地区の再整備において検討してまいります。</p> <p>なお、駅舎の商業施設に関しましては、JR 東日本へ伝えます。</p>
5	6	<p>営業車ロータリーについてタクシープールは18台とするよりも実状から見て一部をバス、タクシー共用とした方が良いと思います。</p>	<p>交通事業者との協議結果より、営業車ロータリーの交通島にタクシープール18台、バス待機所2台を確保することといたしました。</p> <p>タクシープールについては、現状の27台から9台減とし、18台とさせていただきました。</p>
6	7	<p>一般車ロータリーは車社会である伊東では想定台数が少ない。旅館ホテル等の送迎車が想定されていない。</p>	<p>①一般車乗降場台数は伊東駅の利用者数から「駅前広場計画指針（建設省都市局都市交通調査室監修）」による算定結果を基</p>

			<p>に決定しています。</p> <p>停車時間の長い迎えの車両に対しましては、駐車場（市営）の利用を促すなど、混雑抑制の対策を検討してまいります。</p> <p>②旅館ホテル等の送迎車につきましては、伊東温泉旅館ホテル協同組合と調整を行い、駐車場（市営）内に5台分の駐車区画を設けております。</p>
7	7	<p>駅舎構内事業者向けの駐車場ですが、整備計画（案）の場所ですと遠くであるのと多くの駅利用者との動線が長い区間でバッティングします。台数は3台分あるのがベター。業者によってはトラックでの運送もあります。</p>	<p>駅舎構内用の搬入車の駐車台数は、JR 東日本及び伊東駅構内営業会と協議のうえ決めたものであり、一般車ロータリーは積載量3tまでの車両が通行できるよう計画しております。</p> <p>なお、物販の搬入に関する運用につきましては、駅利用者が多い通勤や通学の時間帯を避けるなど、伊東駅構内営業会と調整を図ってまいります。</p>
8	8	<p>広場空間ですが、車と人とのバランスを考えると若干の縮小が必要だと考えます。</p>	<p>バス、タクシー及び一般車乗降台数については、伊東駅の利用者数から算出し、必要面積を確保したものであり、広場空間につきましては、イベントの開催や災害時の一時的な避難場所、緊急時の活用場として利用できるよう必要な面積を確保した計画としております。</p>
9	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・③の東側道路近くにシェアサイクルポートを設置できないか。</li> <li>・レンタサイクル、電動キックボードを設置してはどうか。</li> </ul>	<p>駅前広場へのシェアサイクルの設置予定はありません。</p> <p>なお、レンタサイクル、電動キックボード等のご意見につきましては、市担当部署へ伝えます。</p>
10	8	<p>②の屋根付き休憩スポットに設置されるという観光情報案内板、総合案内板、運行情報板などについて、一つのデジタルサイネージに集約することはできないか。</p>	<p>デジタルサイネージの導入につきましては、設置箇所、設置台数、発信情報、施設管理者なども含めて検討してまいります。</p>

11	8	イメージ図には階段があるようですが、階段があると危険な要因になることはあきらかである。どうしても必要ならば、平面と階段部分で色を変えてほしい。	<p>現在、伊東駅改札口前と前面道路に高低差が1mほどあります。駅前広場の整備にあたっては、バリアフリー法に基づく道路移動等円滑化基準に基づき計画しており、広場空間を歩きやすく、また、使いやすくなるよう平坦にしたため、広場空間と前面道路の境に段差を設ける必要があります。</p> <p>平面と段差部分の色については、ご意見を参考に検討させていただきます。</p>
12	9	駐車場について、現在駅前駐車場は15分間無料ですが、三島駅、熱海駅、箱根町などは30分無料です。	<p>伊東駅前駐車場の無料時間につきましては、駅周辺の民間駐車場の経営を圧迫しないよう配慮し、15分無料と設定させていただきます。</p> <p>無料の時間については、周辺の駐車場の状況を考慮しながら、再度検討させていただきます。</p>
13	9	整備計画（案）のとおり整備を進めた場合、既設道路がなくなることで、周辺道路の交通量の増加が予想され、事故の増加が懸念される。道幅が狭い道路もあるため、すれ違いの問題がでるのではないか。	<p>既設道路のすれ違いについては、既設道路を街区整備予定地側（現観光バス駐車場）へ拡幅することを検討しておりますが、拡幅が困難な場合は、街区整備予定地内に仮設道路を設けるなど、暫定運用することで、車両や歩行者の通行に支障のないよう進めてまいります。</p>
14	9	新駐車場の駐車台数が現在の駐車利用数に比べ大幅に減少しているため観光客等に不便が生じるのではないか。	<p>車で訪れた観光客等の駐車場については、駅周辺には民間駐車場が多数存在するため不便が生じることはないものと考えますが、市営駐車場の台数が不足するようであれば、街区整備に併せて駐車場の検討をしてまいります。</p>
15	—	交番の設定の有無。（有の方が安全です。）	<p>駅前広場の整備予定区域が現伊東駅前交番と重なることから、伊東警察署等と交番の移転先について協議を行っていま</p>

			す。 整備後も駅前広場の近隣に交番を設置してもらえるように、引き続き、協議してまいります。
16	－	駅自体が老朽化しており、また、海に近く、観光客の方もロケーションや温泉、海産物を楽しまれる方が多数いらっしゃると感じているため、駅の高層化、温泉施設、特産物等の店舗増設、ロケーション場所の案内や写真等設置のスペースを設ける等を計画におりこむかの有無。	①駅の高層化につきましては、施設がJR東日本所有になることからJR東日本へお伝えいたします。 ②温泉施設の設置について、「伊東駅前広場整備検討委員会」にて検討した結果、温泉の温度や湯量、施設の維持管理等に課題があるため、温泉施設を設置しない方針となりましたが、今回の意見を踏まえ、改めて「伊東駅前広場整備検討委員会」で検討いたします。 ③特産物等の店舗増設については、公共の駅前広場内に特定の店舗を設置することは考えておりません。 ④ロケーション場所の案内や写真等設置のスペースについては、屋根付きの休憩スポットに観光案内板を設置する予定ですので、掲載内容等について、市担当部署と調整を図り決定してまいります。当該箇所は、構内観光案内所前にも位置することから、伊東観光協会と連携し、市内の観光施設をPRできればと考えます。
17	－	インバウンドを意識した計画の配慮の有無。	案内表示等につきましては、「しずおか公共サイン整備ガイドライン（平成19年4月：静岡県）」に基づき、国際化に対応するため、多言語化及びピクトグラムを活用してまいります。
18	－	駅前の交番前から商店街への道路を横断する歩行者の安全	将来交通量を見据え、交通量に応じた道路の計画・整備を進

		確保や、車両の円滑な通行を目的とした道路整備の都市計画を要望します。	めてまいります。 歩行者動線につきましては、伊東警察署(静岡県公安委員会)等と協議を行い、歩行者の安全確保ができるように整備を進めてまいります。
19	ー	伊豆高原駅と伊東駅の規模に乖離があり、駅自体を企業と協力し、東伊豆の玄関口として観光客や市民の楽しみや安心の場所としての改変を要望します。	伊東駅舎に関するご意見に関しましては、JR 東日本へ伝えます。 本市といたしましては、伊東の玄関口として、市民や観光客が利用しやすい駅前広場の整備を推進してまいります。
20	ー	駅前商店街を含めた、伊東市の魅力や安心・安全・快適な環境の整備を都市計画に要望します。	駅前商店街を含めた伊東市の魅力的な環境整備については、整備するだけでなく、その後の活用方法が重要であることから、市関連部署及び伊東商工会議所、地元商店街等と連携し、活用方法を含め、伊東市の魅力あるまちづくりを推進してまいります。
21	ー	都市計画工事のキックバック等、市民の信用を失墜させないような、工事会社等や他企業への資金支出の透明・明瞭・誠実性の開示を要望します。	入札及び契約の過程並びに契約内容の透明性を確保し、手続きを進めてまいります。
22	ー	・イメージ図では、伊東駅開業時に植えられたシンボルツリーの夫婦ヤシがありません。イベントスペースを確保するのであれば、夫婦ヤシを活かす方法もあるのではないのでしょうか。夏は猛暑にもなるのでしょうから樹木があることも観光客へのもてなしになると思います。 ・夫婦ヤシをそのまま残してほしい。	夫婦ヤシは、昭和13年の伊東駅開業を記念して、別の場所にあったものを移植したものであります。現在、樹高が十数メートル、葉周りが約9メートルと巨木化しているため、枯葉等の落下による事故が懸念されることから、駅前広場の安全・安心の利用の観点から駅前広場内に夫婦ヤシを残さない計画とし、保存のため、現在、別の場所への移転を検討しておりますが、今回の意見を踏まえ、改めて「伊東駅前広場整備検討委員

23	—	歴史的な経緯からも駅舎とカナリーヤシは一体のものである。伐採には断固反対である。	会」で検討いたします。 夏の猛暑対策については、休憩スポットへの屋根の設置や木陰で一息つけるよう緑陰樹を配置する計画であります。
24	—	・ロータリーの周囲に伊東小室さくら等の並木があっても綺麗ではないかと思う。 ・伊東らしい植栽とするため、レモン等柑橘類を植えてはどうか。	見通しの確保の観点より、並木等の設置はできませんが、植栽につきましては、改めて「伊東駅前広場整備検討委員会」で検討いたします。
25	—	駅前広場再整備の上、トランジットモールの整備に関する検討を計画案に記載できないか。	市内においては、移動手段の主体は自家用車であることから、現時点ではそぐわないと思われまので、トランジットモールの整備に関する検討を行う予定はありません。
26	—	交通結節点である伊東駅前広場に繋がる（都）伊東駅伊東港線（通称：西口線）の拡幅整備も早急に進めてほしい。	（都）伊東駅伊東港線の拡幅整備につきましては、当該路線について都市計画道路としての必要性を再検証しておりますので、その結果をもとに検討してまいります。
27	—	今後の人口減少、路線バスの減便、タクシーの台数削減、高齢化に伴い個人の方の運転免許の自主返納増加も予想されるなか、30億円をかけて今、伊東駅前広場整備を行う必要性があるのか。	①人口減少や少子高齢化が進む中、持続可能な都市運営を行うためには、都市のコンパクト化を進めていかなければなりません。居住や都市機能の誘導を図るため、伊東市街地においては、魅力の向上と賑わいの創出が必要であると考えます。 誘導施策の1つとして、伊東駅前広場を含む伊東駅周辺地区の再整備を進めてまいります。（詳細につきましては、伊東市立地適正化計画（令和5年3月）をご確認ください。） ②高齢化が進むなか、自身での運転を控える方の増加が予想されることから、今後、公共交通が重要となってまいります。 本市では、公共交通を維持していくため、伊東市地域公共交

			<p>通計画（平成31年3月）に沿って、引き続き対応してまいります。</p> <p>③事業費につきましては、昨今の資材価格の高騰等を踏まえて算出した概算金額であり、工事費のほか、用地費、建物補償費等を含んだ合計金額となります。詳細な金額につきましては、今後、精査してまいります。</p>
28	—	<p>駅前広場の混雑については、もともと一般車の進入や駐停車が禁止されているが、これが全く守られていない上、放置されている。「駐車場無料時間を1時間へ延長」、「取り締まりの強化」、「タクシープールや東側市所有地の利用」など金額掛けず、小変更で対応できるのではないかな。</p> <p>金額を掛けずに、まずは小変更を試す価値・必要があるのではないかな。</p>	<p>伊東の玄関口として、市民や観光客が交流でき、誰もが快適かつ安全に利用できる駅前広場の整備を目指しております。</p> <p>小変更だけでは、根本的な課題の改善は難しいと考えますので、今回市が主体となり、駅前広場の再整備を進める方針です。</p>
29	—	<p>市長の公約は伊東駅周辺A地区整備事業と駅前広場整備である。市長が掲げる「賑わい創出」のためにも2事業の同時進行が必要ではないかな。</p>	<p>本市では、伊東駅前広場を含む伊東駅周辺地区の再整備を進める方針です。</p> <p>伊東駅前広場整備と並行し、伊東駅周辺地区の再整備に関しましても検討を進めております。</p>
30	—	<p>2024年問題でバスの更なる減便やタクシー稼働台数の減少が全国で指摘されている。伊東市も例外ではない。2024年問題が伊東市内の交通事業者に与える影響がはっきりしてから駅前広場整備を計画すべきではないかな。なぜいまなのか。</p>	<p>2024年問題に対して、一部の交通事業者と協議を行った中では、本市における運行体制では、影響が少ないとの回答を得ております。引き続き、各公共交通の運行状況等を定期的に確認しながら、公共交通の維持・確保に努めてまいります。</p> <p>駅前広場の整備に関しましては、現状、安全面において問題を抱えておりますことから、改善を図る必要があります。</p>

31	—	駅前広場に喫煙所を設置してもらいたい。	受動喫煙防止の観点から分煙を図るため、駅前広場への公共喫煙所の設置について検討させていただきます。
32	—	伊東駅を拠点とした、市内の主要な所を結ぶ「ロープウェイ」等新たな交通手段の検討。	現時点では、「ロープウェイ」等の新たな交通手段を導入する計画はございません。
33	—	手荷物を預けられる場所を設置してはどうか。	手荷物預かり場所につきましては、現在、市担当部署が検討を進めております。
34	—	バス乗り場と市営駐車場は今のとおりで良い。	現在のバス乗り場は、バスが前面道路を利用し、切り返しをしてバックで駐車している状況であります。このため、過去にはバックの途中で歩行者がバス後方を横切るなどして接触事故が発生した事例があることから、公共交通の安全な利用の観点から、バス事業者と協議の結果、バス乗場の改善は必要であると考えます。
35	—	物見塚公園にある「伊東祐親像」を伊東駅前広場に移転希望する。	伊東駅前広場整備検討委員会により検討の結果、伊東駅周辺には伊東祐親公ゆかりの場所はないことから、伊東祐親公の像を物見塚公園から伊東駅前広場に移転する必要性はないものと考えておりますが、今回の意見を踏まえ、改めて「伊東駅前広場整備検討委員会」で検討いたします。
36	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の伊東らしい駅周辺にし、海が見える駅にするため、広場部分を2階建てにし、2階広場から海が見えるようにして欲しい。併せて伊東公園側への連絡通路をつくって欲しい。</li> <li>・広場を2層化し、車のロータリーを地下に設置することで、商店街方面の移動を円滑かつ安全にできるのではないかな。</li> </ul>	<p>広場部分を2階建てにする計画について、検討いたしました。併せてJR東日本による駅舎の高層化が必要となること、また、周辺への影響や費用の面からも難しいと考えております。</p> <p>また、当該地は津波浸水区域に位置するため、車のロータリーを地下に設置する計画はありません。</p>

			<p>なお、伊東公園側への連絡通路に対するご意見につきましては、ＪＲ東日本へ伝えます。</p>
37	－	<p>伊東駅から国道１３５号バイパス伊東駅入口交差点間の道路脇建物への立ち退き解体補助金を出し、道路脇通路を広くし駅からの眺望を確保して欲しい。</p>	<p>伊東駅から国道１３５号バイパスの間の道路は、「都市計画道路 伊東駅海岸線」（県道 伊東停車場線）であり、未整備区間の拡幅につきましては、道路管理者である静岡県へ伝えます。</p> <p>なお、本市といたしましては、眺望の確保を理由に、本事業において建物の立ち退きをお願いすることはございません。</p>